

学位論文要旨の掲載にあたって

筑波大学『経済学論集』では、毎年、筑波大学大学院人文社会科学研究科（旧社会科学研究科）において博士（経済学）の学位を取得された方の論文要旨を掲載しています。本号には、2003年度に学位を取得された小畑二郎，塙武郎両氏の要旨を掲載させていただきます。

小畑氏は、現在、筑波大学社会科学系教授（金融論担当）で、ケインズの倫理と経済学の革新に関するこれまでの研究をまとめた論文「ケインズによる倫理と政治経済学の復興」により、2003年11月に学位を取得されました。

塙氏は、現在、筑波大学大学院社会科学研究科博士課程に在籍し、またアメリカオレゴン大学教育学部客員研究員として現地調査を積み重ね、それをもとにアメリカ高等教育の財政メカニズムに関する実証研究をまとめた論文「現代アメリカ高等教育財政の研究」により、2004年2月に学位を取得されました。

小畑，塙両氏の御研究のさらなる発展を祈念いたします。

なお、筑波大学大学院人文社会科学研究科では、提出論文の研究領域を専門とする本学他研究科あるいは他大学の先生方に外部委員として論文審査に加わっていただいています。小畑論文に関しては神奈川大学経済学部鈴木芳徳先生に、塙論文に関しては京都大学教育学部江原武一先生，筑波大学教育学系山本眞一先生にそれぞれ委員をお願いしました。ここに記して感謝の意を表させていただきます。

来年度以降も、多くの方が、本研究科に優れた学位論文を提出され、博士（経済学）の学位を取得されることを願っております。

2004年3月 平 沢 照 雄